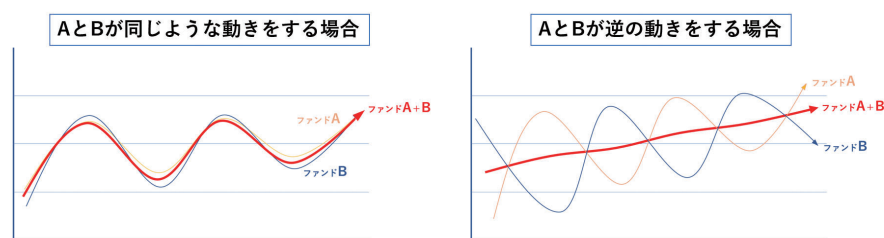


キーストーンの知恵袋が伝授する「低金利時代の貯蓄法」 第5回「分散投資を学ぼう②」

前回、動きの違う商品に分けることで「変動が少なくなるにも関わらず平均のパフォーマンスが得られる」との話をしました。今回は例を上げて説明してみます。

仮に米ドルの金利が年3%、日本円の金利が年1%としたときに、それぞれ半分ずつ持ったとすると、全体での利回りは2%という事になります。ただし、為替変動があります。円が上がればドルが下がり、その逆も然り。いずれにしろ相対的に動くわけですから全体としての資産価値は同じはず。即ち円だけを持っていた時には1%だった利回りが2%になります。もちろん円に戻す際に円安であればその分減ることになります。ドルに戻すと同じだけ増えることになるのです。リスク(変動)が少なくなるというのはこういうことなのです。図で示すとこのようになります。(上図参照)



もちろんこんな単純な話ではありませんが、ハイリスクハイリターン商品もポートフォリオに組み込むことで、リスクを低減し平均のリターンを得ることが可能になります。

誤解を承知で申し上げますと、分散投資の目的はノーリスク商品以上のリターンを得ること。言い換えればお金を増やすことと言えなくもないのです。あくまで理論上のハナシではありますので、額面が下がる可能性がゼロではありません。「最終的な投資判断は自己責任」。これは常に念頭に置いてください。

今回は話を戻して「私には運用商品なんて関係ないわ～」についてお伝えします。(文責:門)

今回は話を戻して「私には運用商品なんて関係ないわ～」についてお伝えします。(文責:門)

財布があなたの命を守る!?

～mo.si.ca(もしか)カードのご紹介～

外出先で意識が無くなり、救急車で搬送されるような事態が起きた時、緊急連絡先を伝える手段は備えていますか?

実際に私も目の前でこの事態に遭遇しました。先ず救急隊の方は所持品の中から身元が確認できるものを探します。警察も同じです。運転免許証や保険証は大抵財布に入っているので直ぐに本人確認はできます。次に緊急連絡先を探します。最近ではご家族や身内の連絡先を携帯電話に登録されている方が多いのですが、パスワードが掛かっている場合がほとんどです。

当事者が救急隊や警察とのやり取りが正確には出来ない場合、連絡先を調べるのに時間がかかり、命の危険に晒されることもあります。

そこで今回、「mo.si.ca(もしか)カード」を同封させていただきました。緊急連絡先など救急隊が必要とする情報が網羅されていますので、お財布に1枚入れておくだけで、あなたの命を守り、ご家族との繋がりを保つことができます。昨年は自然災害が多く、通信障害で4時間以上携帯電話が繋がらないこともありました。情報を分散して持つことの重要性が高まっている現在。小さいけれど心強い本カードをご活用いただければ幸いです。(文責:都筑)



たくさんのステキな元号、ありがとうございました。

～最もたくさん使われた漢字は? 2文字が同率2位!～

昨年実施しました「勝手に元号考えてみました」キャンペーン。色んな想いを込めて届いた二文字。漢字の種類は実に80以上に及びました!今回は、どんな漢字が最もよく使われていたかをご紹介します。

第5位「明」…「明るく」

第4位「平」…「平和」「平等」「平ら」「平安」

第2位「永」…「末永く」「永遠に」「永久に」

第2位「安」…「安心」「安全」「安定」「安らか」

昨年は大きな自然災害が多かったことから「安心」。世界の状況が不安定であることから、「平和が永遠に」、そして「明るい」社会を。そんな想いが託されている5位～2位でした。では1位の発表です!!!

第1位「和」…「平和」「和を以て貴しとなす」「和の国」「和み(なごみ)」「和を重んじる」「調和」等

「和」という文字に「日本らしさ」を込めて。そして4位の「平」にも関係しているのですが、「平和」の登場頻度が圧倒的でした。「世界平和」「日本が平和の架け橋になってほしい」等、元号に託す想いは世界に向けられているということを感じた結果となりました。

ご応募いただいた皆様から、日本語が豊かで包容力溢れる言語であることを教えていただきました。ありがとうございました。(文責:野田)

※ご応募いただいた元号の数々は1月中旬、弊社ホームページにてご紹介させていただく予定です。お楽しみに。

